

3年道德通信 第17号

第17回『一票を投じることの意味』

選挙は『税金を使う人』を選ぶ。税金の使い方をチェックし、税金をどう使うか決めるのが政治家で、それを選ぶのが選挙です。父と選挙に行ったあかりは、どんなことが公平な税金の使い方になるのか、一票を投じることの意味が少しわかったような気がして、選挙権を得るのが待ち遠しくなってきました。

ジャーナリストの池上彰さんの説明文から、投票の意義と自分たちが投票権をもつまでに「何ができるか」を考えました。

みんなの意見

父は、なぜ「私」に「選挙に行ってみないか」と声をかけたのか？

- ・3年後に選挙権を持つことになるから、少しでも選挙について知ってほしかった。
- ・早いうちから、選挙について興味を持ってほしかった。

投票できるまでの3年間、あなたにできることは？

- ・自分の住んでいる亀岡の現状について知っておくこと。
- ・選挙がどういう仕組みなのかを知る。
- ・選挙のポスターを見つけたら、ちょっとみてる
- ・情報をあつめて、政治について関心を持つことが必要。
- ・税金がどんなことに使われているのか考える。

学んだことや感じたこと

- ・よく考えて自分の国がよりよくなるような人を選びたい。また、その人を選んだ責任もちゃんとをもって協力できるようになりたい。
- ・投票する人が少ないということは、少ない人数の意見だけで決まってしまうことになるので、若い人にもっと投票してほしいと思った。
- ・他人事だと思わずにしっかり考えて、投票しないといけないと思った。
- ・選挙はより多くの人の意見を聞くことのできる大切な機会だと思った。
- ・3年後に選挙権を持った時には、選挙に参加したいと思いました。
- ・「選挙で税金の使い方が決まる」その意味がわかりました。
- ・選挙にはまだ行けないけど、国のためにできることを身近なことから始めたいと思った。



よりよい社会を実現するために、大切なことは何だろう。